

仙台経済界

2018
9-10月号

今年も多彩に構造デザイン交流会

日本建築構造技術者協会東北支部

(一社)日本建築構造技術者協会(JSCA) 東北支部(加藤重信支部長) は7月7日、「第5回構造デザイン交流会2018」を青葉区千種の東北大

た。

同事業は、建築構造設計に携わる技術者や、将来建築設計を目指す全ての人を対象に、いろいろな視点から意見交換し合える場にしようと毎年開催している。恒例の「構造デザインコンテスト」は、今年は「都市公園にある展

望タワーの提案」と題し、自由かつ独創的な発想の構造デザインの提案を実務者の部、学生の部に分かれて競った。学生の部には、東北大、東北工業大学、東北学院大学、山形大学、日本大

学、東北学院大学、山形大学、日本



大学の5大学、10グループが参加。厳正な審査の結果、東北学院大学の門脇悠さんらのグループによる「木やグラノホヤウッドによるテンセクリティ構造」が優勝した。当日は現在竣工または建築中の作品の発表会、JSCA賞を受賞した山田憲明氏の講演会も行われた。